

K Y T 基礎 4 R 法の進め方(シナリオ)

手法のねらい

危険予知訓練は、危険に対する感受性を鋭くするためのもので「K(キケン) Y(ヨチ) T(トレーニング)」KYTと略称されています。この4ラウンド法がすべてのKYT活用技術のベースになるものです。

このKYT基礎4R法を正しく、早く理解する方法として、まずはこのシナリオを読み、手法の全体像(進め方)をつかんでください。

シナリオ読み合わせのポイント

- ・ このシナリオの読み合わせからはじめて、2～3回と繰り返し練習するごとに、この手法が身につきます
- ・ 手法の流れが判ってきたらアドリブの会話を挿入しても良いでしょう
- ・ 大きな動作、大きな声で、本物らしく練習しましょう

K Y T 基礎 4 R 法 実技のポイント

- ・ レポート係以外は全員立って実技を行います
- ・ 通常5～6人で行います(多い場合は、サブチームを編成します)
- ・ レポートはコピーしてメンバーに配り、内容を再び確認しましょう。また上司のコメントを必ず記入し、強い関心と激励により日々のKYTを活力あるものにしましょう
- ・ サブチームに分かれて行ったときは、相互に発表しコメントし合います
- ・ 15分以内で「みんなで、早く、正しく」行えるよう反復訓練しましょう

役割	セリフ	実技のポイント
タッチアンドコール		
リーダー	KYT基礎4R法 開始 ヨシ !	全員で小さな円陣をつくる。
メンバー	KYT基礎4R法 開始 ヨシ !	
導入		
リーダー	整列・・・番号	健康観察 (姿勢・動作・顔・表情・目・会話)
メンバー	1、2、3、4、5	
リーダー	6・・・おはようございます。	
メンバー	おはようございます。	
リーダー	(3)さん、ちょっと鼻声みたいだけど、風邪でも	
メンバー	ひいたの？	
リーダー	家中が風邪をひいてしまって、私もついうつてしま	
メンバー	いました。	
リーダー	それは気の毒に、風邪は引き始めが肝心だから食事	
メンバー	と睡眠には十分気をつけて下さい。では、KYT基礎	
リーダー	4R法を始めましょう。今日は、誰にでも判る「窓ふ	
メンバー	き」がテーマです。イラストシートを配布します。こ	
リーダー	これでKYTを行います。書記は(2)さん、レポート	
メンバー	係は(4)さんをお願いします。	
第1R 現状把握：どんな危険が潜んでいるか		
リーダー	それでは第1ラウンドを行います。	サブチームで実技を行う時は、発表者、コメント係を決める。
メンバー	作業名は「窓ふき」、状況は、あなたは、脚立を使っ	
リーダー	て窓ふきをしています。	
メンバー	この作業は、脚立を使うので昇り降りが大変ですね、	
リーダー	さあ、どんな危険が潜んでいるかドンドン出して下さ	
メンバー	い。	
リーダー	ハイ、力を入れて雑巾をもみ洗いしたので、はねた	
メンバー	水が目に入る。	
リーダー	そうですね、それはよくありそうですね。	
メンバー	ハイ、脚立から離れた窓を拭こうと身を乗り出した	
リーダー	ので、脚立がぐらついてよろけて落ちる。	
メンバー	なるほど、それは危ないですね。	
リーダー	ハイ、脚立から飛び降りて、着地した時よろけて足	
メンバー	をひねる。	
リーダー	ハイ、昇りながら窓に近づこうと窓側に足を乗せた	
メンバー	ので濡れた踏みさん足が滑り転落する。	
リーダー	(5)さん、何か危険はないですか。	

役割	セリフ	実技のポイント
(5)さん リーダー メンバー リーダー	ハイ！脚立から降りて拭き具合を見ながら、後ずさりしたので後ろのバケツに足を引っ掛け転ぶ。 全員1件ずつ出ました。その他ありませんか。 ありません。 1 Rの中で抽象的な表現なものはありませんか、見直しをしましょう。	リーダーは5項目くらい出たところで、他に危険はないかを問いかける。 書記は、メンバーの発言を番号を付けながら模造紙に横書きする。
(4)さん リーダー メンバー	(2)さんの言われた「脚立から飛び降りですが、なぜ飛び降りたのか理由があると判りやすいですね。例えば、地面まであと2段なので、と最初に入れると理解がしやすくなります。 そうですね、(2)さん〔書記〕3番の冒頭に「地面まであと2段なので」を追加して下さい。 後はいいですね。 いいです。	できるだけ「～なので～して～になる」と発言し、危険を具体的に捉える。 1 Rが出揃ったら必ず「具体的な表現か」見直しを行う。
第2 R 本質追求：これが危険のポイントだ		
リーダー	それでは、第2 Rに入ります。第1 Rの項目の中で、重要な危険はどれだろう。上がった項目には○印を付けて下さい。	第2 Rは、「これが危険のポイントだ」をメンバーで合意して決める。
(3)さん	3番の脚立から飛び降りて足をひねるが危険です。	全員の話し合いで、重要な危険と思われるものに○を付けていく。○印は幾つあってもよい。
(1)さん	2番の脚立から離れた窓を拭こうとして、ぐらついて落ちるはかなり危険だと思います。	付け終わったら、さらに、特に重要な危険を皆の話し合いで「ソウダ、コレダ」と絞り込んで、危険のポイントを◎印として押さえる。
(4)さん	5番のバケツで転ぶも問題だね。	
リーダー	3項目出ました。最重要項目に絞り込みましょう。	
(5)さん	(2)さんの言った3番の脚立から飛び降りて足をひねるというのが起りそうな危険ですね。	
(2)さん	2番の脚立から落ちるといのは、危ないな。	
(3)さん	やっぱり、2番が一番危険だよ。	
リーダー	2番は確かに危ないな、(1)さんはどうですか。	
(1)さん	私も2番が最も危険だと思います。	
リーダー	それでは、危険のポイントを2番に絞り込みたいと思いますが、よろしいですか？	
メンバー	はい。	
リーダー	では2番に◎印を付けて、アンダーラインを引いて下さい。	
リーダー	それでは、危険のポイントを指差し唱和します。構えて！	
メンバー	ヨシ！	

役割	セリフ	実技のポイント
リーダー 全員	危険のポイント、脚立から離れた窓を拭こうとして身を乗り出したので脚立がぐらついてよろけて落ちる ヨシ！ 脚立から離れた窓を拭こうとして身を乗り出したので脚立がぐらついてよろけて落ちる ヨシ！	このヨシ！は確認のヨシ！◎とアンダーラインを引いた危険のポイントを全員でしっかり指差し唱和する。
第3R 対策樹立：あなたならどうする		
リーダー	これより3ラウンドに入ります。危険のポイントに対して、あなたならどうしますか？	第3Rは「あなたならどうする」のアイデアをドンドン出し合う対策樹立で、危険のポイントに対して、具体的に実行可能な対策を3項目程度出す。 書記はメンバーの発言を素早く模造紙に書いていく。 2～3項目出たところで終わる。 第4Rは「私達はこうする」と合意し、決断して実践につなげる目標設定のラウンド。 メンバーにはかって重点実施項目に絞り込む。
(4)さん	脚立を動かす。	
リーダー	どこに置けばよいですか？	
(4)さん	そうですね、脚立を正面に置けばよいと思います。	
(5)さん	脚立の反対側に昇って拭くというのがあります。	
リーダー	(2)さんはどうですか？	
(2)さん	脚立はその都度こまめに動かす、はどうでしょう。	
リーダー	(4)さんと同じですね。こまめに動かすが分かりやすいですね。3項目出ました。4ラウンドにいてもいいですか？	
メンバー	いいです。	
第4R 目標設定：私達はこうする		
リーダー	それではこれより4ラウンドです。3項目出た対策の中から、重点実施項目を絞り込んで※印を付けましょう。どうですか？	
(3)さん	3番の脚立はこまめに動かす、がいいね。	
(1)さん	うん、そうだね。	
(2)さん	賛成です。	
リーダー	では、重点実施項目は3番に決めたいと思います。いいですね？	
メンバー	いいです。	
リーダー	では、3番に※印とアンダーラインを引いてください。	
チーム行動目標の設定		
リーダー	それではチーム行動目標を設定します。チーム行動目標は、脚立を使って窓ふきをする時は、脚立をこまめに動かして行おう、ではどうですか？	重点実施項目が決まったら、全員の話し合いで前向きのチーム行動目標を設定する。
メンバー	いいです。	

役割	セリフ	実技のポイント
リーダー メンバー リーダー 全員	では、チーム行動目標を指差し唱和します、構えて。 ヨシ！ チーム行動目標、脚立を使って窓ふきをする時は、 脚立をこまめに動かして行おう ヨシ！ 脚立を使って窓ふきをする時は、脚立をこまめに動 かして行おう ヨシ！	チーム行動目標は「必 ず実践するぞ」、「100% 達成するぞ」というチー ムの決意表明である。
確 認：指差し呼称項目の設定		
リーダー (5)さん リーダー リーダー メンバー リーダー 全員	次に確認のための指差し呼称項目を決めますが、何 にしましょうか？ 脚立位置 ヨシ！はどうですか？ もっと鋭くして、脚立位置正面 ヨシ！でどうでしょ う。 なるほど、脚立の位置がよりハッキリしますね。そ うしましょう。 それでは指差し呼称項目は「脚立位置正面 ヨシ！」 にします。3回唱和します。構えて。 ヨシ！ 指差し呼称項目、脚立位置正面 ヨシ！ 脚立位置正面 ヨシ！（3回繰り返し唱和）	指差し呼称項目は、確 認すべきポイントを、そ の対象と状態をとらえ て、鋭く切り込む具体 的な内容とする。 3回唱和するのは、こ の項目を潜在意識に叩 き込んで現場での実践 につなげるためである。
タッチ・アンド・コール		
リーダー メンバー リーダー 全員	それではタッチ・アンド・コールで締めくくりまし ょう。手重ね型でいきます。構えて。 ヨシ！ ゼロ災でいこう ヨシ！ ゼロ災でいこう ヨシ！	現場での実践を決意 を込めて誓い合う。

3 KYT基礎4R法の進め方のポイント

(1) 第1ラウンドの“危険”のとらえ方と表現の仕方

① イラストシートの中の作業者になりきろう

第1ラウンドの現状把握では、イラストシートの中の作業者の身になりきって、自分が作業しているつもりでシートを見ます。

② 危険を“危険要因”と“現象”の組合せで表現しよう

「～なので」
[危険要因] 「～して」 + [現象] 「～になる」
「～なので～して」 「～する」

③ “現象”は“事故の型”で言い切ろう

この作業の「不安全な行動」と「不安全な状態」によって引き起こされるであろう危険の“現象”を“事故の型”でとらえ、次のようにズバリと言い切ります。

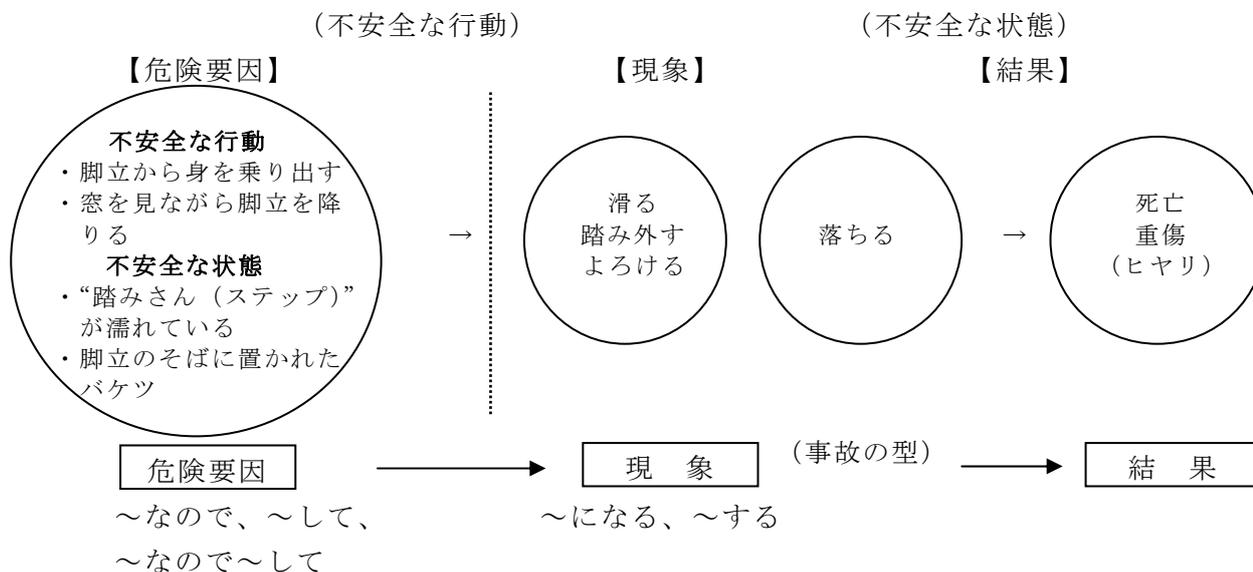
落ちる ころぶ ぶつかる 足を打つ 頭に当たる 挟まれる
巻き込まれる 下じきになる 手を切る 手をこする やけどする
感電する 腰を痛める 腰をひねる 目にホコリが入る

○「～かもしれない」「～の危険がある」「～の恐れがある」などはいりません。
○事故の結果[ケガ(ねんざ 骨折) 死亡]については発言する必要はありません。

④ “危険要因”はできるだけ“不安全行動(動作)”と“不安全な状態”の組合せで表現しよう

危険要因は通常、「不安全な行動」と「不安全な状態」の組合せからなります。このため、危険要因を表現するときにはできるだけ「不安全な行動」と「不安全な状態」が明らかになるよう表現します。

(例) 窓の拭き具合を見ながら脚立を降りたので、濡れた“踏みさん(ステップ)”で滑って落ちる。



⑤ “危険要因”を掘り下げよう

(例) 状況：あなたは、脚立を使って、窓ふきをしている。

(例えば)「よろけて落ちる」という危険が思い浮かびます。

なぜ“よろける”のか？

(例えば)「脚立がぐらつき、よろけて落ちる」

なぜ“脚立がぐらつく”のでしょうか？

(例えば)「脚立から離れた窓をふこうとして身を乗り出したので、脚立がぐらついて、よろけて落ちる」

このアンダーラインの部分 が、KYTで求められる“危険要因”です。



⑥ “危険要因”を具体的に表現しよう

具体的にするのは、お互いに分かり合い、気付きあうためです。

(例)「ムリな姿勢なので～」

「不安定なので～」

「～が悪いので」

という抽象的な表現だけでは、“何”が“どのように”「ムリ、不安定、悪い」のかがお互いに分かり合えません。

そこで、例えば、

「中腰でもっているので～」

「つま先でたっているので～」

などと具体的に表現をします。

⑦ “危険要因”を肯定的に表現しよう

(例) 安全帯をしていないので～

保護メガネをしていないので～

足場を固定していないので～

このように、対策を思い浮かべて「～していないので」といった否定的な危険要因の発言がよく出ます。

しかし、これだけでは、危険要因の中身が見えてきません。その危険の様子、その動きが見えてきません。

そこで、例えば

身を乗り出しているので～

顔を近づけているので～

足場がズレて動くので～

などと肯定的に表現します。

ただし、ここでいう否定的な表現とは、対策を思い浮かべた、例えば「安全帯をしていないので～」といった表現であって、「足元が見えないので～」といった客観的な状況を述べたにすぎない表現は含みません。

(2) KYTを実施するリーダーの心得

① 訓練計画を立てよう

リーダーは自分のチームで危険予知訓練を導入し定着させようとする場合、およその計画を立て、毎日やっても定着するのに半年ぐらいかかるつもりで、あせらず着実に実施しましょう。身近な、みんなに関心のあるテーマやイラストシートを選定したり準備したりするのは、リーダーの役割です。進捗状況を上司に報告し、指示を受けたり、スタッフなどの協力も得ましょう。

② 討議時間を縮めよう

「みんなで 早く 正しく」をモットーに、訓練はできるだけ連続的に実施しましょう。自分達の仕事がテーマなら慣れてくれば短時間でやれるようになります。回を重ねるごとに時間短縮していくのも重要な訓練です。しかし、いいかげんなKYTにならないように、リーダーは常にKYT基礎4R法の正しい進め方を繰り返し習練して下さい。

③ 危険の予知・発見が第一

イラストシートを見るとすぐ対策を言いたがる人がいます。第1Rはもっぱら“危険要因とそれによって引き起こされる現象”を予知・発見し、お互いに共有し合うラウンドです。リーダーは、「第1Rの“危険”のとらえ方と表現の仕方」をしっかり身につけ、アリアリと目に浮かぶようにメンバーが発言するようにリードをして下さい。これをふまえてリーダーは、KYT基礎4ラウンド法に習熟して下さい。

④ 範囲をせばめよう

イラストシートに描かれた状況が広範囲すぎる場合がありますが、短時間で行う場合には、特定部分に限定して話し合しましょう。現場で現物で実施する時も、範囲を単位業務のステップや動作に限定して行うことが必要です。

危険予知の対象のしぼり込み

- 職場にどんな危険があるか
- 今日の業務にはどんな危険があるか
- この単位業務にどんな危険があるか
- このステップにどんな危険があるか
- この動作にどんな危険があるか

⑤ 危険のポイントを漏らさずに

イラストシートから必ず発見してほしい項目は、リーダー自身あらかじめ勉強して明確にして下さい。リーダーは話し合いの中で、その項目を押し付けるのではなく、自然に浮かび出てくるような感じでメンバーに気づかせることができれば最高です。

⑥ 不安全行動のみに限定せずに

故意に“物”の問題を避けて、作業者の不安全行動の摘出のみをさせるようなことはしてはいけません。職制が、現場からの不安全状態に関する問題提起や設備改善を求める声を率直に受け止めて解決しようとする姿勢がなく、職員の行動のみに危険の解決を押し付けるようなことではKYTは決して職場に定着しない

し、その効果も期待できません。イラストシートによる訓練段階から、人・物の区別をしない方がよいです。

危険に対する感受性は、当然、不安全状態の発見・把握・解決に及びます。また作業手順の見直しなどにつながっていきます。

⑦ 状況に応じてラウンドを使い分けよう

すべてについて第4ラウンドまでやらなければならないということはありません。KYTでは、第1ラウンド、第2ラウンドが重要で、ケースによっては第2ラウンドまででも足ります。「何が危険か」が分かり合えば、どうしたらよいかは通常知っているし、できるからです。「分かり合う」ことが大切だからです。状況（時間・場所・目的など）に応じて、手法やラウンドを使い分けるのもリーダーの手腕です。

⑧ 指差し唱和で気合いを一致させよう

第2ラウンドの◎印の危険のポイント、第4ラウンドのチーム行動目標は必ず正しい姿勢で指差し唱和しましょう。全員で指差し唱和し、その目標について気合いを一致させるのが指差し唱和です。さらに、一人ひとりが業務行動の要所要所で必ず指差し呼称をして確認することを習慣づけるためです。鋭く切り込む指差し呼称項目（1項目）を決め、指差し唱和をしましょう。もちろん、職場ではリーダーが率先垂範して指差し呼称をしましょう。

⑨ 明るく気楽にやろう

KYTは楽しい雰囲気で行えるところに魅力があります。非現実的・空想的な項目が出て大笑いすることもあります。話し合いの中で不自然なものは自然淘汰されます。リーダーは1項目1項目にあまり神経質にならずに、明るい雰囲気づくりに努力して下さい。ワイワイ・ドンドン・グングン・ソウダコレダという感じでホンネで話し合ってください。

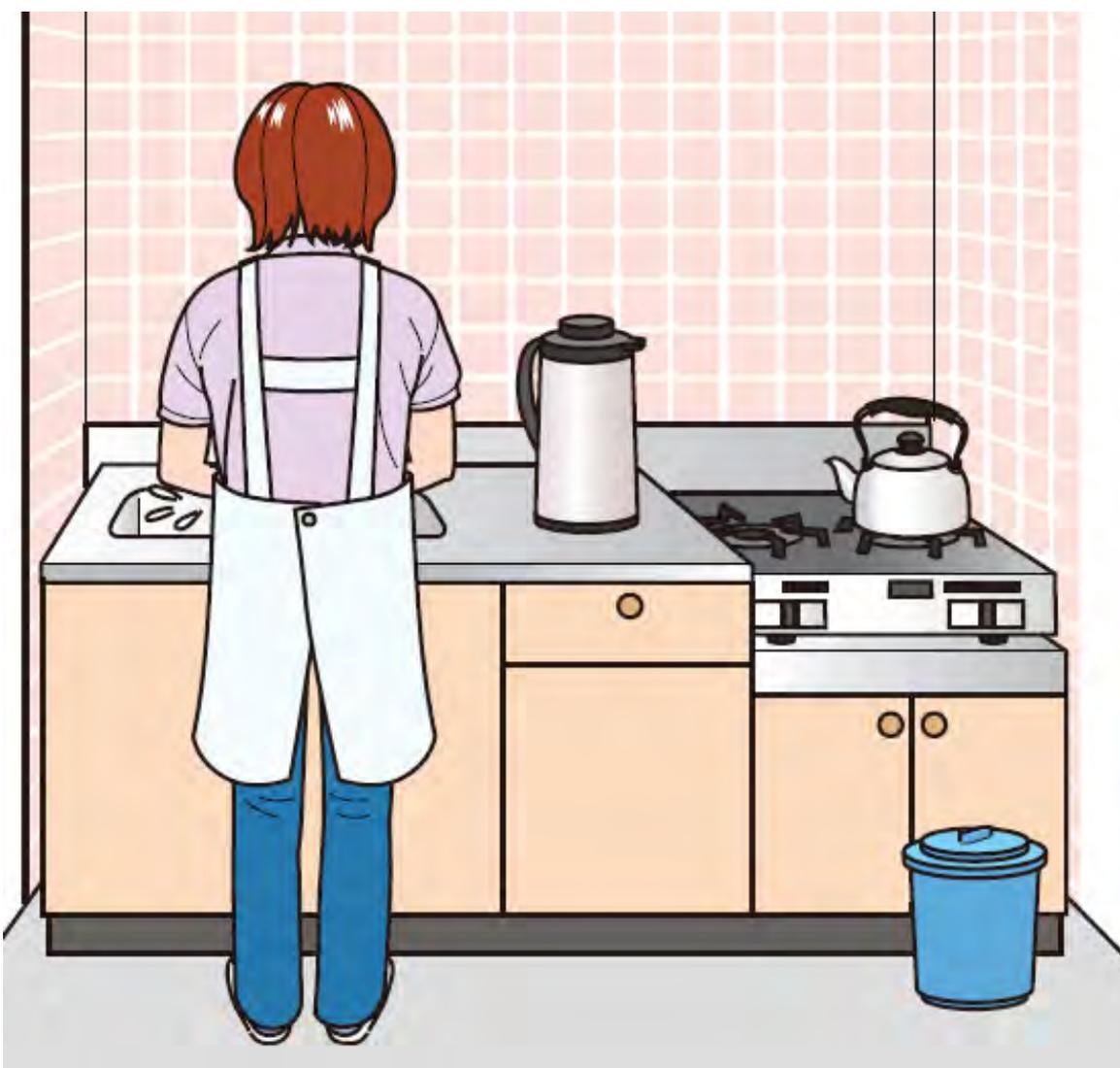
6 やってみよう KYT基礎4R法

準備

- イラストシート 「台所で洗い物」
- 模造紙（マジック赤黒） レポート用紙（サインペン赤黒）
- テーブル（模造紙を敷く）、椅子1脚（レポート係用）

どんな危険がひそんでいるか

業務名：台所で洗い物



状況

あなたは、台所でお湯を沸かしながら、洗い物をしている。

危険予知訓練レポート

シートNo.	とき . . .	ところ
--------	----------	-----

チームNo. - サブチーム	チーム・ニックネーム	リーダー	書記	レポート係	発表者	コメント係	その他のメンバー
—							

第1ラウンド <どんな危険がひそんでいるか> 潜在危険を発見・予知し、“危険要因”とそれによって引き起こされる“現象”を想定する。
 第2ラウンド <これが危険のポイントだ> 発見した危険のうち、「重要危険」に ○印。さらにしぼり込んで、特に重要と思われる“危険のポイント”に ◎印。
 “危険要因”と“現象(事故の型)”を想定して [～なので～して～になる] というように書く。

1
2
3
4
5
6
7
8
9

第3ラウンド <あなたならどうする> “危険のポイント” ◎印項目を解決するための「具体的で実行可能な対策」を考える。
 第4ラウンド <私達はこうする> “重点実施項目”をしぼり込み ※印。さらにそれを実践するための“チーム行動目標”を設定する。

◎印No.	※印	具 体 策	◎印No.	※印	具 体 策
		1			1
		2			2
		3			3
		4			4
		5			5
チーム行動目標 ~する時は ~を~して ~しようヨシ!			チーム行動目標 ~する時は ~を~して ~しようヨシ!		
指差し呼称項目			指差し呼称項目		

上司(リーダー)コメント

7 KYTイラストシート集

1 介助業務

- (1) 車椅子への移乗
- (2) ベッドへの移乗
- (3) シーツ交換

2 清掃・片付け業務

- (1) 床清掃①
- (2) 床清掃②
- (3) 食後の片付け
- (4) 遊具の片付け
- (5) 浴室清掃
- (6) 棚の清掃
- (7) ブラインド清掃

3 運搬業務

- (1) ごみの廃却
- (2) ダンボール箱積み込み
- (3) 荷物の積み替え
- (4) ダンボール箱降ろし
- (5) ロッカー運搬

4 一般業務

- (1) ダンボール箱開梱
- (2) 蛍光灯交換
- (3) 容器入れ替え

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.1-(1)車椅子への移乗



状 況

あなたは、利用者をベッドから車椅子に移乗させようとしています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.1-(2)ベッドへの移乗



状 況

あなたは、利用者を車椅子からベッドに移乗させようとしています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.1-(3)シーツ交換



状 況

あなたは、利用者のシーツを交換しています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.2-(1)床清掃①



状 況

あなたは、2階の床清掃を終了し、2階から1階に移動しています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.2-(2)床清掃②

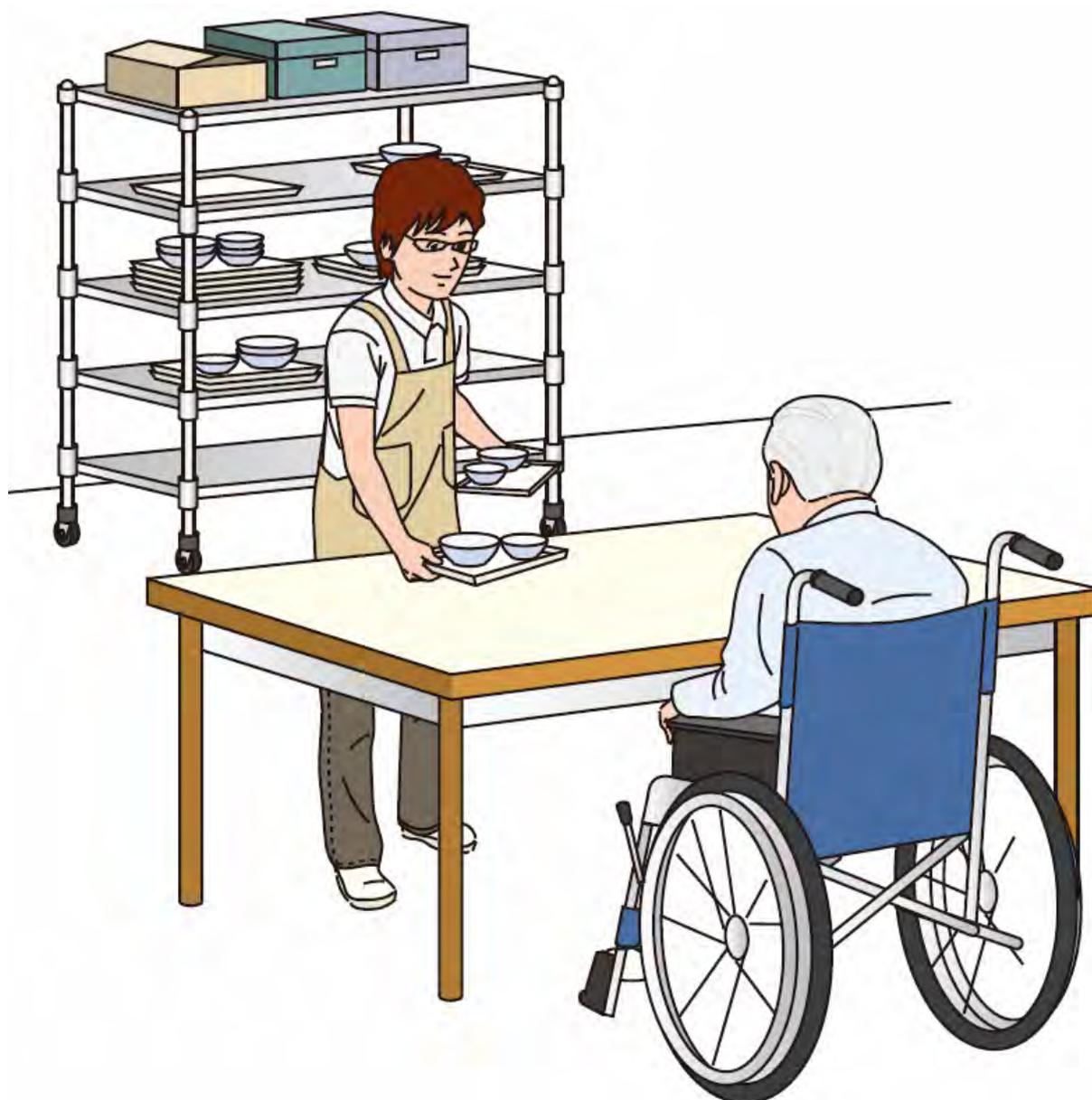


状 況

あなたは、床の落書きを清掃しています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.2-(3)食後の片付け



状 況

あなたは、食後の後片付けをしています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.2-(4)遊具の片付け



状 況

あなたは、子供たちの遊んだ遊具などを片付けています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.2-(5)浴室清掃



状 況

あなたは、浴室の清掃をしています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.2-(6)棚の清掃



状 況

あなたは、踏み台を使って棚の拭き掃除をしています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.2-(7)ブラインド清掃



状 況

あなたは、窓のブラインドを清掃しています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.3-(1)ごみの廃却



状 況

あなたは、ごみをカートに積んで廃却しています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.3-(2)ダンボール箱積み込み



状 況

あなたは、製品の入った段ボール箱（40cm×40cm×75cm、重さ 3kg）7箱をワゴン車に乗せようとしています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.3-(3)荷物の積み替え



状 況

あなたは、袋詰めの食材を台車に積み替えています。

どんな危険がひそんでいるか

シートNo.3-(4)ダンボール箱降ろし



状 況

あなたは、積み上げられたダンボール箱を床に降ろしています。